

# 釧路南ロータリークラブ会報

第27回 例会報告 2015.1.30 通算1570回

・点 鐘

長倉会長

《お食事・歓談中》

・ロータリーソング  
「手に手つないで」



ソングリーダー 佐藤 了会員

## ・お客様と来訪ロータリアンの紹介

釧路北ロータリークラブ	萩原 昭博会長
釧路北ロータリークラブ	富樫孝之副会長
釧路北ロータリークラブ	坂入 信行幹事
釧路北ロータリークラブ	石井東洋彦会員
釧路北ロータリークラブ	小野寺英夫会員
釧路北ロータリークラブ	菊地美恵子会員
釧路北ロータリークラブ	北川 健二会員
釧路北ロータリークラブ	高橋 邦弘会員
釧路北ロータリークラブ	多田 洋平会員
釧路北ロータリークラブ	丹葉 一恵会員
釧路北ロータリークラブ	中嶋 嘉昭会員
釧路北ロータリークラブ	中島谷友一朗会員
釧路北ロータリークラブ	平井 昌弘会員
釧路北ロータリークラブ	本間 明美会員

## ・入会記念祝

上川原 昭会員 H23. 2. 4 (4年目)





## ・会 長 挨拶



皆さん、こんにちは。  
本日は、釧路北ロータリークラブの皆様、月末のお忙しいところ、当クラブにお越しをいただきあり

がとうございます。

各クラブにご案内させていただいております通り、下期1月より、会長で在られました佐藤 玄史会員が、体調の関係でクラブに復帰の目途が立たないという事情で退会という事となり正式私長倉が会長に就任となっております。

改めまして、よろしくお願ひいたします。

年度も上期が終わり、残すところの行事も後はIMくらいかと思いますが、スピーチも段々ネタ切れですが、先週まで、私のこの調子の悪い方の話が3週続きましたので、他話にします。

数年前になりますが、地産地消という事もあり日本酒を飲む時は地元の地酒「福司」以外飲まないという決め、浮気しそうになりながらも、1年間続けたことがありました。やはり地元の酒蔵に頑張ってもらいたいという気持ちからでした。

地産地消という事であれば、我町北海道には余市にウイスキーの地酒「ニッカ」があります。当クラブは釧路ニッカクラブの会員が多く、東クラブ、西クラブの方もいらっしゃいますが、北クラブさんには、ニッカクラブに所属している方はいらっしゃらなかったと記憶しておりますが、今年釧路ニッカクラブは、50周年を迎え6、7月には余市の工場見学を予定しております。

もし、北クラブの会員の方で行ってみたいという方がおられましたら、お申し付けください。

親睦を深まることもできると思います。

但し、条件は釧路ニッカクラブに入会する事ですが・・・

## ・幹 事 報 告



\* 来週、2月6日(金)の例会は夜間例会です。『会員増強お客様招待例会』と題して会員候補を招待しての例会となっております。佐野会員増強委員長より案内、取りまとめをしておりますのでメンバー各人が1名を連れてこられるようにしていただくと大幅に増強できますので宜しくお願いいたします。

- \* 2月の例会プログラムがメンバーに配信されていてお分かりかと思いますが2月20日(金)は献血例会となっております。当初の計画では、献血バスに来ていただき、クラブメンバーと当会場である東急イン様のスタッフの方も参加していただく予定でしたが当日、献血バスが予約済であったためイオン昭和店にある「ぷらっと946」となっております。皆様の出席をお願いするとともに、各企業様の社員、友人知人、家族の方も一緒に参加していただくと大変嬉しいです。宜しくお願いします。
- \* 国際ロータリー第2500地区第7分区次年度ガバナー補佐事務局開設の案内が届いております。メール若しくはFAXにて送信させていただきます。
- \* 2月度ロータリーレート：1ドル=118円となっております。

## ・委員会報告

### 親睦委員会 亀井麻也会員より報告

- ・本日のニコニコ献金  
上川原 昭会員 入会記念祝として  
釧路北RC坂入幹事より表敬訪問として



## ・本日のプログラム

### 「歴代会長卓話」

担当 会報委員会 前田委員長

#### ◆木内治彦会員



会員の皆様、釧路北ロータリークラブの皆様、こんにちは、今日は釧路北ロータリークラブの会員が大勢お見えになり、心からお礼申し上げます。

今日の例会内容は歴代会長卓話となっておりますが、先日、29日に担当委員長より依頼されましたが、月末で歴代会長の多くが出席出来ないと、私に回って来ました。以前にも歴代会長卓話を行いました、内容は覚えておりませんので、今日は北ロータリークラブの皆様が出席されておりますので、私の出生と今日現在までのお話をさせていただきます。

私、木内治彦は1960年 昭和35年1月12日、釧路市立病院、現在の、まなぼと釧路市生涯学習センターにて、木内周治、洋子の長男として産声をあげました。

自宅は南大通6丁目です。その当時は、車はオート3輪、馬車、水道は共同栓と記憶しております。

その後、知人、現在の米町公園の下に、小学校1年まで住んでおりました。自宅には井戸があり飲み水としては使えませんでした。

洗濯や食器を洗うのみ、海が近いせいで塩辛い水で、親と一緒に水汲みに行ったのを覚えています。小学校は今は統合されましたが、東栄小学校に通っておりました。

その後は釧路町の桂木に引越、昔は釧路村字セチリ太48番地と記憶しております。光陽小学校、共栄中学校、釧路第一高校を卒業後、親の会社に就職、木内木材工業株式会社に約9年間勤め、北海道ニチイ(現イオン北海道)に就職、平成2年に釧路に戻り、損害保険会社、富士火災海上保険(株)に就職、平成9年に家業の不動産管理会社に戻り、現在に至っております。将来息子に家業を継いでとは考えておりますが、現状自分のことで精いっぱい、不安があるのが正直のところ、です。

1960年、昭和35年の日本と海外の出来事についてお話をさせていただきます。1月明星食品が味付けラーメンを発売、日米安全保障条約調印。2月胃腸薬「キャベジンコーワ」を発売、フランスがサハラ砂漠で初の原爆実験。3月韓国の大統領選で不正選挙があり騒乱事件が起きる、ベン・ハーが日本で公開。

4月タカラからダッコちゃん発売当時180円、5月東急ホテルチェーン1号店、銀座東急ホテル開業、チリ地震発生。6月日本専売公社がハイライトを発売。

7月呉羽化学工業が「クレラップ」を発売。8月ローマオリンピック開幕。9月日本でカラーテレビ本放送開始。

10月ベルマーク運動の始まり。11月巨人の水原監督が勇退し川上哲治ヘッドコーチが監督に昇格。12月石川島重工業と播磨造船所が合併、石川島播磨重工業が(現IHI)発足。ヒット曲、橋幸夫の潮来笠。テレビ番組、兼高かおる世界の旅白馬童子、ララミー牧場など懐かしさを感じます。

話は変わりますが、私が南ロータリーの会長になったのは2009～2010年度、今から6年前になります。例会場所もここ東急の斜め向かいの釧路ロイヤルインに会場があり、昼食も弁当と、ホテルがビジネスホテルのため色んな制約があり夜間例会が使えない時もあったと記憶しております。

現在は温かい食事で環境は整っていると思いますが、今日の食事のお味はどうでしたか？そろそろお時間になりますので、歴代会長卓話とさせていただきます。有難う御座いました。

#### ◆長江 勉会員



皆さん今日は。

今日は釧路北RCさんの集団メーキャップということで、萩原会長始め多くの会員の皆様のメーキャップを頂きありがとうございます。

北クラブさんのお蔭で久々に活気のある例会が出来心より感謝申し上げます。ありがとうございます。今日は退会防止についてのお話を、インターネットなどで調べてきましたので、ご紹介したいと思えます。

当クラブもピーク時は会員が45名位の時がありましたが、今期は23名スタートで、上期新入会員2名の増員と順調に來ておりましたが、残念なことに上期4名が退会となり、現在21名となりました。

クラブの会員数を増やし、これを維持するためには、会員の退会防止が不可欠となっております。

クラブにおける退会率の高さは、今日、ロータリーが直面する重要な問題の1つとなっております。退会防止においてクラブがどのような課題を抱えてい

るのかを見極め、それに対処するための方策を真剣に考えていかなければなりません。クラブの退会防止策には、会員の教育をはじめ、会員を常に積極的に活動させ、新しい情報を伝える事が必要であります。献身的で積極的、かつ意欲のある会員を育てることによって、クラブが効果的な活動ができ、仲間意識も高まり退会防止につながるのではないのでしょうか。

国際ロータリーは、会員が退会する主な原因が三つあると分析しているという。

一つはリーダーシップのせい弱さ。会長はじめ理事、役員、あるいは常任委員会委員長などのリーダーシップが弱いためということ。二つ目は会費。会費が高いというのではなく、会費に見合う満足感、充実感がロータリーから得られない。

三つ目は奉仕活動。せっかくロータリーに入会し、ボランティア活動でもやろうと思ったが、期待したほど満足感のある奉仕活動を味わえない。

しかし、よく考えてみると、それらの原因にはロータリーそのものを誤解しているところがあるように思います。そもそもロータリーはボランティア団体ではありません。ロータリーは奉仕理念を例会で学び、自分の人格を高め、その高められた心をもって自分の職業や業界において職業奉仕理念を実践し、あるいは地域社会、国際社会において自らが先頭に立って、社会奉仕活動をするところではないかと思えます。ロータリーが面白くない。魅力がない。充実感がもてないというのは、自分自身が面白くない、魅力がないと言っているのと同じである。「まさに、あなたがロータリーそのものであり、あなた自身がロータリーの心を推進しなければならない。そのための学び場が例会である」と言われております。古くは米山梅吉が「例会は人生の道場である」と言われたゆえんである。毎年、ガバナーエレクトたちが国際協議会で学ばれる会場にも、大きく「入りて学び、出でて奉仕せよ」と書いてあるそうです。我々は今一度原点に立ち戻り、それぞれのクラブの例会を見直し、魅力あるロータリークラブにしなければならぬと思えます。

また、今の時期は次年度に向けての理事、役員、委員長の人選の時期でもありますので、ロータリーの友に載っておりました、ロータリーにNOはない「ロータリーの友より」をご紹介させていただきます。先輩会員が、「ロータリーにNOはない」と言ってい

